

第72回日空衛定時総会

(一社) 東北空調衛生工事業協会
事務局長 鍵 茂



令和2年5月20日(水)「帝国ホテル東京」で、第72回定時総会が開催されました。本年は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、規模を大幅に縮小して行われました。当協会としては移動自粛の要請に従い、委任状での参加といたしました。総会内容につきましては議案書が届いておりますので抜粋してご報告いたします。式次第は次の通りです。

1. 会長挨拶

1. 議事録署名人選任

1. 議事

- (1) 令和元年度事業報告について
- (2) 令和元年度決算報告について
- (3) 令和2年度事業計画案について
- (4) 令和2年度業界実践スローガン決議案について
- (5) 令和2年度入会金及び会費分担額案について
- (6) 令和2年度収支予算案について
- (7) 第39期役員を選任について
- (8) 定款の変更案について

議事(3)の事業計画案については

昨年は各地で自然災害が多発いたしました。当業界は脱炭素社会の実現に向けて、CO₂を削減する省エネ技術などを駆使し、その先導的役割を担い、SDGs(持続可能な開発目標)の達成にも貢献していく。

一方、担い手不足が続く中、建設業における多様な人材の確保・育成が引き続き重要な課題となっている。「建設キャリアアップシステム」の活用、特定技能外国人の受け入れ等にも対応し、生産性の向上に努めながら、働き方改革を着実に推進してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響が協会活動にも出始めておりますが、適切に対応をして参ります。

令和2年度は第39期の第2年度です。「業界実践スローガン」の実現を目指して、委員会活動などを通じた協会活動の強化・充実に取り組んでまいります。

議事（4）令和2年度業界実践スローガン決議案については

1. 省エネルギー及び省CO2に積極的に取り組み、脱炭素社会の実現とSDGsの達成に貢献しよう
2. 法令の遵守と企業の社会的責任果たす事業運営を徹底しよう
3. 生産性の向上と適正な施工体制の確保に努めるとともに、未来を担う多様な人材の確保・育成を図り、「働き方改革」を推進しよう
4. 空調衛生設備の独自性や重要性和「直接発注（分離発注）」の必要性を強くアピールし、「機械設備一式工事」又は「空調衛生設備」の実現を目指そう

議事（7）第39期役員を選任については

東北からの理事として小林照和（一社）宮城県空調衛生工事業協会理事長が選任されました。